

# 平成29年度 活動報告

特定非営利活動法人  
日本・中東医学協会

## 平成 29 年度 活動報告書

### 中東地域における医療技術向上のための中東地域の医療従事者、専門家の招聘及びその支援事業

#### ① イラン・イスファハン医科大学の医師の視察受け入れ

##### 1. 事業経緯と目的

特定非営利活動法人日本・中東医学協会（JMEMA）は、2015年にイランに医療使節団を派遣し、両国間の医療・医学交流を目的とした活動を開始しました。2017年2月のテヘラン医科大学の招聘に引き続き、2017年10月は更なる両国間の関係促進を目指して、イスファハン医科大学の方々の来日の際に東京での視察プログラムの支援を行いました。

本プロジェクトでは、日本の高度先進医療技術の紹介や病院視察を通じて、さらなる両国間の医療・医学交流を促進することを目的としました。

##### 2. プロジェクト概要

実施期間	平成 29 年 10 月 5 日（木）～平成 29 年 10 月 6 日（金）
プログラム	10 月 5 日(木) 10:00-12:00 当協会への訪問受入、会員企業による活動・製品紹介 10 月 6 日(金) 09:00-12:00 東京女子医科大学の視察 15:00-17:00 ターヘレ・チャンギーズ氏を囲む研究会(笹川平和財団共催)

##### 3. イラン人医師

イスファハン医科大学（1946年設立）とは、イスファハン県における中核病院として33病院を統括し、地域の450万人に対して医療を提供しています。イスファハン医科大学より以下の3名の医師が来日しました。



(来日者は写真左より順に)

モフセン・シャハリアーリ先生（看護・助産学部 准教授）

ターヘレ・チャンギーズ先生（学長）

ハミッド・ミール・モハマド・サーデギー先生（製薬バイオテクノロジー学部 教授）

（写真右2番目）特定非営利活動法人 日本・中東医学協会 専務理事 石田 賢司

##### 4. プロジェクトの様子

## 当協会への訪問受入



山本会長によるご挨拶



関理事によるご挨拶



石田専務理事によるNPO活動紹介



チャンギーズ学長によるイスファハン医科大学の紹介

## 会員企業による活動・製品紹介



オリンパス(株)



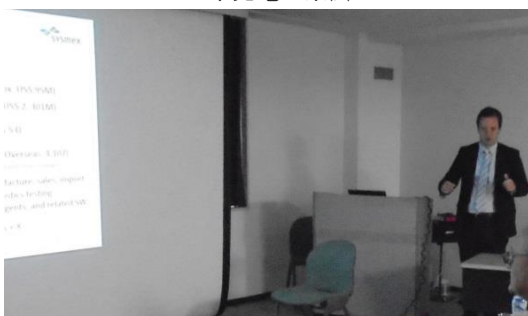
(株)島津製作所



日本光電工業(株)



パラマウントベッド(株)



シスメックス(株)

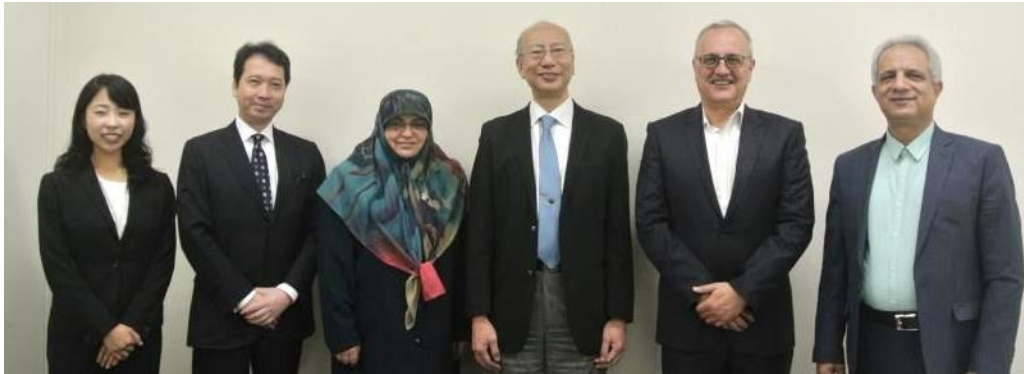


アイテック(株)



集合写真（前列左より、山本会長、ミール・モハマド・サーデギー教授、チャンギーズ学長、シャハリアーリ準教授、アイテック(株) 関様。後列、会員企業様及び事務局）

### 東京女子医科大学の視察



右より シャハリアーリ準教授、ミール・モハマド・サーデギー教授、上塚副会長、チャンギーズ学長、高橋様（アイテック(株)）、坂井（事務局）



上塚副会長によるご講義



池田教授による看護教育制度のご講義



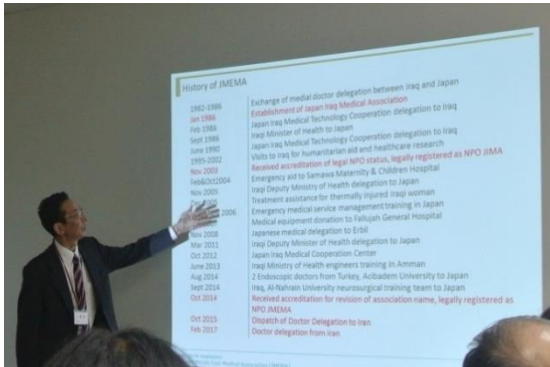
木村薬剤部長による薬剤部のご説明



上塚副会長による院内ご説明



## ターヘル・チャンギーズ氏を囲む研究会



石田専務理事による NPO 活動紹介



会議の様子

## 5. ターヘル・チャンギーズ学長からの感想

### ① 会員企業による活動・製品紹介

“Thanks for providing great opportunity to know and hear from several companies in a short time. All presentations were nice. We have been familiar with some products at the companies, and forstering the communication with them may help us to find better solutions for our needs. Also if companies think about research & development in Iran, they may benefit from technoparks in Iran, and this issue was addressed in our discussions.”

(和訳：短期間にいくつもの企業について学ぶ機会を提供して下さりありがとうございます。すべてのプレゼンテーションは素晴らしかったです。私たちは医療機器メーカーのいくつかの製品に慣れ親しんできましたが、その企業とのコミュニケーションをとることで、私たちのニーズのより良い解決策の発見につながるでしょう。また、日本企業がイランでの研究開発について関心がある際には、イランのテクノパークから恩恵を受けられることを話し合いました。)

### ② 日本・中東医学協会へのメッセージ

“I believe that JMEMA's service may be considered as an exceptional opportunity for Japan, Iran and Iraq to build a strong relationship in health and medical education. Common cultural values (although many differences) will facilitate this relationship. I think that JMEMA's mission may be accomplished more successfully. If our Japanese friends motivate local organizations in the middle east countries to help each other, and encourage their networking. This may be done with multi-sided agreements & MOU's (including institutions from more than one country in the region).”

(和訳：JMEMA のサービスは、日本、イランおよびイラクが保健・医科教育において強力な関係を築くための素晴らしい機会であると信じています。(多くの違いもあるものの) 共通の文化的価値が国どうしの関係をより良くするでしょう。我々の日本の友人が中東諸国での草の根の助け合いやネットワークづくりを促すことで、JMEMA の目的である医療・医学交流の促進が成功裏に達成されることを祈っています。これは(中東地域の複数の国の機関との) 多国間協定および覚書によってなされるでしょう。)

## ② トルコ人医師及び医学生の国立がん研究センター中央病院の視察

### 1. 事業概要

特定非営利活動法人日本・中東医学協会（JMEMA）は、トルコでのがんセンターの設立を目指すセルベット・R・カラハン教授とそのご子息で医学部4回生のサリー・N・カラハン氏が来日した際に、日本のがん診療の現状を知りたいとの要望に応え、当協会の野村和弘理事（国立がん研究センター中央病院 名誉院長）のご手配の下、国立がん研究センター中央病院の視察の支援を行いました。

カラハン教授およびご子息は、2018年2月7日に国立がん研究センター肝胆膵内科医長の脇岡 範（ひじおか すすむ）博士による超音波内視鏡を用いたがん診断術を熱心に視察しました。視察後、カラハン教授より「脇岡博士の優れた手技に高い感銘を受け、非常に貴重な視察であった」との感想がありました。

### 2. セルベット・R・カラハン教授の略歴

Position Title	Work Place	Year
General Surgeon	Bakırköy State Hospital	1985-1990
General Surgeon	Gümüşsuyu Military Hospital	1987
Associate Professor of General Surgery		1990
Chief of Surgery Clinic	Haseki Research and Training Hospital, Istanbul	1990-1996
Chief of Staff in Hospital and Surgery Clinic	Okmeydanı Research and Training Hospital, Istanbul	1996-1997
Professor of General Surgery	Van Yüzüncü Yıl Uni Medicine Faculty Dep.of Surgery	1997-1999
Chief of Surgery Clinic	Istanbul Samatya Research and Training Hospital	1999-2002
General Manager of Health Affairs	Social Security Institution of Turkey	2003-2005
Member of the Board of and Vice Chairman	Turkish Red Crescent	2004-2010
Chief of Hepatopancreatobiliary Surgery Department	Okmeydanı Research and Training Hospital	2005-Now

### 3. 視察の様子



アピランス支援センター視察



患者サポートセンター視察



カラハン教授、脇岡博士、カラハン氏（左より）



石田専務理事、カラハン教授、カラハン氏（左より）

### ③ イラク人医師の内視鏡研修の準備

#### 1. 経緯と目的

在イラク日本大使館の医務官である齋木都夫医師のご協力により、イラクと日本の医学交流の促進を目指して、2018年5月にイラク国よりアリ・イスマエル医師の来日に向けた準備を行いました。イスマエル医師は、イラクで最も権威のある国立 Gastroenterology and Liver Education Hospital の内視鏡部長を務めており、医師及び医学生等へ指導を行う立場にあります。イスマエル医師へ日本の医療技術を伝えることにより、医師及び医学生等へ技術が普及し、イラクの医療レベルの向上に寄与することが期待できます。当協会の佐藤信紘理事（学校法人順天堂 理事）のご手配の下、順天堂大学での内視鏡研修を行う予定です。また、昭和大学江東豊洲病院の視察や、内視鏡メーカーへの訪問を予定しています。

#### 2. プロジェクト概要

実施予定期間	平成 30 年 5 月 10 日(木)～平成 30 年 5 月 23 日(水)
プログラム	5 月 10 日(木)～5 月 12 日(土) 第 95 回 日本消化器内視鏡学会総会への出席 5 月 14 日(月)、16 日(水)、17 日(木) 昭和大学江東豊洲病院での内視鏡手術の見学 5 月 15 日(火) オリンパス株式会社のショールームの見学 5 月 18 日(金)、21 日(月)、22 日(火) 順天堂大学で内視鏡手術の見学 5 月 23 日(水) 富士フイルム株式会社のショールームの見学 HOYA 株式会社 PENTAX ライフケア事業部の工場見学

#### 3. イラク人医師の紹介

① 氏名

Dr. Ali Ismael Al Saedi

② 所属

Gastroenterology and Liver Education Hospital

③ 部門・役職

Chief physician of endoscopic section in the gastroenterology department

④ 医療の学位

Baghdad University (1993-1999)

Kuffa University (2010)

⑤ 加盟団体

Iraqi Society of Gastroenterology and Hepatology (2011)

American Society of endoscopy (2012)

European Society of gastroenterology (2014)

